

学校だより

頸城

令和元年5月22日 No. 2

上越市立頸城中学校

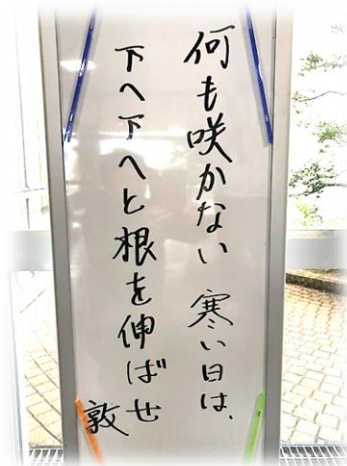
〒942-0164 頸城区潟口 60

TEL530-2405 FAX530-2014

学校メール kubiki-j@jorne.or.jp

「素直さ」と「謙虚さ」を忘れずに

新年度がスタートし、1ヶ月余りが経ちました。生徒は少しずつ学校や学級にも慣れ、自分の持ち味を出し始めています。自分に自信をもち、前向きに生活していくことは大変素晴らしいことです。しかし、調子に乗りすぎると失敗してしまうことがあります。また、気の緩みから授業に集中して取り組めない、自転車の乗り方が悪くなることもあります。生徒一人ひとりが中学校生活の一日一日を大切にし、自分が思い描く夢に向かって進んでいってくれることを願っています。頸城中学校の生徒が天狗にならない（調子こかない）ために、次の2つの話を届けます。私が尊敬するパナソニック（旧松下電器産業株式会社）グループの創業者である松下幸之助さんが次のように話されたそうです（PHP 研究所『松下幸之助一日一話』より）。



4/27 校長メッセージより

叱ってもらえる幸せ

叱ってくれる人をもつことは大きな幸福である。叱ってくれる人のいないことは寂しいことである。どんな人でも、より多く叱ってもらうことにより進歩向上が得られるのだ。

叱られて反感をもち、不愉快な態度を示すことで、再び叱ってもらえる機会を失うと、自己の進歩はもうそれで行き詰まることになる。叱ってもらうことは自己向上の一大資料であることを感じて、これを受け入れてこそ、そこに効果が生まれるのである。

修行途中である諸君は、叱ってもらうことの尊さを知り、叱られることに大いなる喜びを感じる境地に達しなければならないと思うのである。

原因は自分にある

人間というものは他人の欠点は目につきやすいものだ。往々にして何か問題が起こると、それはすべて他人のせいで自分には関係がないと考えがちである。実際に他人のせいであって、自分は無関係な場合もある。しかし、それをそう判定するのは、あくまでも人間である。他人のせいではあるけれども、実は自分のせいでもあるというように、自分はまったく関係がないとは言い切れない場合も少なくないのではなかろうか。

少なくとも、問題が起こった際には、他人のせいだと考える前に、まず自分のせいではないか、ということ一度考え直してみることが非常に大切ではないかと思うのである。

謙虚さを与えてくれる松下幸之助さんの言葉です。親子でじっくりと味わってみましょう。

学校運営協議会 ～みんなでつくる地域の学校～

上越市では、平成 24 年度から、地域とともに学校づくりを進める「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」を、全市立小中学校で展開しています。地域の皆様から学校運営に参画していただくことで、学校と地域の信頼関係を深め、一体となって学校運営の改善や子どもの健全育成に取り組むことが目的です。その意味で、学校運営協議会は学校にとっての「よきパートナー」であり、委員の皆様は「辛口の友人」とであるとされています。



今年度の学校運営協議会委員の方々は以下の皆様です（敬称略）。よろしくお願いします。

4 月 23 日（火）には第 1 回目の会議を開催しました（その後、学区 4 小中学校の合同学校運営協議会も行いました）。委員の皆様からは、SNS への対応や部活動運営・指導の問題等、中学校の教育に対して活発にご意見をいただきました。その中で、「諸問題を学校だけで抱え、解決することは不可能。」「地域で力になれることは何か、その仕分けが大切。」等のご意見をいただき、大変心強く感じました。今年度は、頸城中創立 40 周年の節目であり、秋には記念事業も予定されています。生徒にとって思い出深い 1 年となるよう、地域の代表でいらっしゃる委員皆様方からご意見をいただきながら、今後も真摯に学校運営を進めてまいります。

令和元年度 学校運営協議会委員

会 長 岩淵征四郎《青少年育成会議会長》

副会長 松村かずみ《青少年育成会議副会長》

委 員 秋山 玲子《主任児童委員》

市川 康夫《ユートピアくびきスポーツクラブ理事・事務局長》

今井 一郎《上越地区スポーツ推進委員協議会会長》

大越さとみ《読み聞かせサークルワンダーランド会長》

木下 典男《PTA 会長》

下間 順一《元 PTA 会長》

長嶋真由美《PTA 副会長》

藤枝 善丸《後援会長》

藤澤 明彦《元 PTA 会長》

黒板メッセージから ～愛ある教育の実践～



今月も先生方から生徒へのメッセージを紹介します。最近、田中校長のメッセージも生徒玄関に設置され、ほぼ毎日更新されています。中学校にお寄りの際は、是非校長メッセージにもご注目ください。なお、中学校にお寄りの際は、是非「カフェ校長室」へ！おいしいお茶やコーヒーを用意してお待ちしております。無料です。（教頭）

